

学校経営の概要

1 札幌伏見支援学校 令和7年度学校経営方針

(1) 校訓 【 夢・協働・感謝・笑顔 】

(2) 学校教育目標

一人一人の可能性や夢に向かって、個性を伸ばし、心豊かに、生き生きと自分の力を発揮できる児童生徒を育てる。

| | |
|----------|--|
| めざす学校の姿 | 児童生徒にとって、夢や希望を持って友達と共に学び、笑顔で生活できる学校 保護者にとって、子供を中心に協力、信頼できる学校 地域にとって、相互に理解を深め、相互に必要とする学校 関係機関にとって、パートナーとして共に歩むことができる学校 教職員にとって、誇りを持って常に前向きに歩むことができる学校 |
| めざす子供の姿 | 自ら可能性を広げ、夢に向かって自分の力を発揮する 仲間や地域の人々と協力して活動する 感謝や思いやりのある豊かな心を持ち、気持ちを伝え合う 笑顔にあふれ、学びに自ら高い関心を持って活動する |
| 育てたい5つの力 | ①人間関係を作る力 ②コミュニケーション力 ③社会環境への適応力 ④はたらく力 ⑤選択・決定する力 |

(3) 教育・経営方針

ア 学習指導

- ・ねらいを明確にした教育実践（ねらいとそれにふさわしい指導計画）
- ・学校教育目標（育てたい5つの力）や各教科の目標を踏まえた目標設定と客観的学習評価
- ・児童生徒の学習における ICT 機器の活用（個別最適な学び）
- ・自立活動や道徳教育、総合的な学習（探求）の時間の充実
- ・「学びの履歴シート」の全校活用

イ 生徒指導・進路指導

- ・「自己有用感」「共感的な人間育成」「自己決定の場の提供」をキーワードとした発達支持的生徒指導
- ・報告・連絡・相談の徹底と生徒指導対策委員会によるチーム対応
- ・困難性の高い課題に対する関係機関との連携

ウ 安全・安心

- ・学校保健安全計画による組織的対応と食育を含む健康安全教育の推進
- ・実践的な避難（防災）訓練の実施と子供の重大事故を想定した職員向け訓練の実施
- ・一日防災訓練の計画・実施
- ・学齢に応じた「自分の命は自分で守る」安全教育の推進

エ 家庭や地域との連携

- ・学齢に応じた地域資源を活用した学習の在り方に関する検討
- ・教員の参加による学校運営協議会による熟議
- ・本校の教育を知ってもらうための発信方法の工夫
- ・家庭や地域からの信頼を失わない言動と教育公務員としての服務規律の徹底

オ 研究研修

- ・日々の指導に直結する校内研修の推進（主に指導方法）
- ・日常の指導について、同僚に相談したり専門家より助言を受けたりする取り組み
- ・所属学部以外の授業参観（＝小中高のつながり）
- ・研修時間の確保するための「私の時間」の工夫
- ・道立特別支援教育センター研修講座への参加
- ・全日本特別支援教育研究連綿（全特連）北海道大会における学校（授業）見学に関する業務

カ 組織運営、働き方改革

- ・速やかな報告連絡相談の徹底
- ・児童生徒の減少に伴う教職員数の減少を想定した運営組織（学部・分掌）の検討
- ・ハラスメントのない職場・コミュニケーションが豊かな職場・指摘しあえる職場
- ・校務DX化
- ・副校長・教頭・事務長の勤務時間の縮減

キ これからの10年（教育課程の再編）

- ・学部のつながりがある（12カ年を見通した）教育課程の検討（令和9年度に向けた取り組み）
- ・教育目標の達成を目指す教育課程の在り方の検討（学校運営協議会との連携）
- ・もなみ学園分校との情報交換

ク その他

- ・行事等に「開校10周年記念」と冠をつける取り組み
- ・教員確保のための「草の根教育実習」に係る業務

(3) 教育・経営の重点

ア 授業力の向上

キーワード：自立と社会参加、個別最適な学び、自立活動、育てたい5つの力、目標設定、学習評価、EBE(Evidence Based Education)、専門性向上、授業公開、小中高のつながり

- ・根拠を基に日々の授業を分析する校内研修（暗黙知（経験知）から形式知へ）
- ・所属学部以外の授業を参観し、理解する取り組み（学部のつながり、体系的な教育課程）
- ・授業参観を通して外部評価していただく取り組み

イ 組織的な生徒指導（進路指導）

キーワード：いじめ対応、発達支持的生徒指導、組織対応、報連相の徹底、関係機関との連携

- ・「いじめはどこの学校にでも起こる」という認識での早期発見・早期対応
- ・「分かる」「楽しい」授業の提供
- ・担当者を孤立させない組織的対応

ウ 地域発信の充実（学校を知ってもらう取り組み）

キーワード：地域との連携、地域資源を生かした学習、教育課程の在り方、学校運営協議会、学校公開、情報発信の工夫、ICTやSNS(note)の活用、教職員の参画

- ・地域との連携や地域資源の活用に関わる学校運営協議会での熟議と教職員の参画
- ・本校の教育を知っていただく機会
- ・伝えたい人に確実に届く情報発信の工夫

エ 「これからの10年」の学校の在り方

キーワード：これまでの振り返り、教育課程の創造、教職員の参画、校内組織

- ・「皆」で考え、「皆」で語り、教育を創造する。